

# 170日「ぶんぐ博」開催

## 大阪文協 新たな流通三段階模索

大阪文協事務局用品協同組合(金澤利治理事長)の第71期通常総会は、5月24日午後4時から大阪市中央区文健会館2階で開催し、上程諸議案を承認可決した。昨年は4年振りにぶんぐ博を開催した。今期は節制した組合運営を行った結果、わずかが黒字を計上し、台車を各組合員に1台提供したので活用してほしい。我々はメーカー、卸、



上程諸議案を承認可決した大阪文協総会

小売の流通三段階で70年以上上商売してきたが、ここ数年ネット注文が増えている。今後は業界にとっても新たな流通三段階を考えていく入口になっていくのではないかと感じている。この中で感えているのはAIで、ビジネスや商売に馴染まないかと思っていたが、知らない間に仕入れ先の調達サイトや発注サイトにも機能がでてきている。このことも業界が変化していく転換期の入り口になっているのではないかと感じている。これは避けては通れないので、しっかり情報を集めていきたい。今後も賛助、特別賛助会と手を携えて業界を盛り上げたい」と挨拶。

引き続き金澤理事長が議長に就いて議案審議に移り、令和5年度事業報告(前田武嗣専務理事)②同年度財産目録・貸借対照表・損益計算書及び剰余金処分案(渡邊英比古専務局長)③令和6年度事業計画案(前田専務理事)④同年度収支予算案(渡邊専務局長)が伝えて承認し、総会審議を

終えた。続いて第67回ぶんぐ博の計画について前田武嗣専務局長が「開催日は10月17日、例年通り前日のアケボノクラウン見本市の会場を利用して開催する。コロナ禍でメーカー、卸など仕入れ先の担当者が様変わりしており、ぶんぐ博の内容を知らないという声を聞くことが多く、今月メーカー20社ほどと大阪、京都、神戸文協が集まって現場の意見をヒアリングしようという見交換会を開催した。この中で、展示会に対する我々の思いと、出展社に違いがあることが分かり、例えば



佐野副理事長 祝い金贈る

# 部理事長らが留任

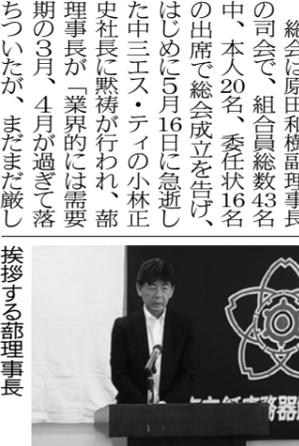
## 東京卸 卸として業界に貢献

【日本文具新聞社発】東京文紙事務器卸協同組合(部聡志理事長)の第72回通常総会は、5月17日午後3時30分から東京・柳橋の共和フォーラムで開催し、任期満了に伴う役員改選では部理事長らが留任した。

総会は原田和樹副理事長の司会で、組合員総数43名中、本人20名、委任状16名の出席で総会成立を告げ、はじめに5月16日に急逝した中三エス・ティの小林正史社長に黙祷が行われ、部理事長が「業界的には必要期の3月、4月が過ぎて落ちついたが、まだまだ厳しいものがある。国内消費で、突然商品が売れだした、欠品するよう事が起きている。これはユーザーが紹介して売れるという事が言われている。商品卸として業界に貢献していきたい」と挨拶。

部理事長が議長に就いて議案審議に移り、上程諸議案を承認可決した。理事及び監事選挙の件では、先に開催の選挙委員会において選任された役員が松澤監事より発表され、新理事長より新役員が発表された。

新理事長に再任された部



挨拶する部理事長

# 天野体制がスタート

## 名古屋文協通常総会

### 事業内容の見直しを検討

【メイフン発】名古屋文具事務用品協同組合(住田宏理事長)は、5月14日午後5時より中区錦の名古屋観光ホテルで令和6年度通常総会を開催、任期満了に伴う役員改選では天野敬之



天野新理事長を選出した名文協総会

氏が新理事長に就任した。併せて第11回あいち文具屋大賞の表彰式も併催した。総会は、吉田光伸副理事長の司会で、組合員総数46名中、本人出席20、委任状20の合計40名の議決権で総会成立を告げ、併せて賛助会員37社中35社41名の合計61名の出席を発表して始めた。

最初に住田理事長が多数の出席を謝し「本日は御組合との同日同会場の開催と

了に伴う役員改選は、指名推薦制が採られて理事候補15名が承認された。任期満了に伴う役員改選は、指名推薦制が採られて理事候補15名が承認された。

住田理事長が議長に就いて議案を進め上程諸議案を承認可決した。任期満了に伴う役員改選は、指名推薦制が採られて理事候補15名が承認された。

天野新理事長に就任した。役員改選の時期となり、重要議案もあるため慎重審議を願いたい。総会終了後は御組合との合同懇親会にて第11回あいち文具屋大賞の表彰式も行う」と開会挨拶した。

ここで、新理事長に就任した天野敬之氏に議長を交

替し、令和6年度事業計画案、収支予算案、組合賦課金の額並びに徴収方法、組合加入金他をいずれも原案通り承認可決した。

このうち、事業計画では引き続き、組合収益事業の推進(担当)事業委員会、さらに仕入先企業セミナーの開催(担当)卸・小売協力委員会等のほか、第12回あいち文具屋大賞の開催が発表され、8月納涼会(愛知文紙事務器卸協同組合と共催予定)は執行部で詳細の検討が申し合わせされた。また令和7年1月7日交歓会が名古屋ガーデンパレスで開催されるが組合が当番団体となっており、組

合員の協力を要請した。なお活動面では、事業委員会の組合オリジナル商品(5年常温保存可能な缶入パン)の販売などが決議されたが、新理事長と新執行部により事業内容の見直しと検討が重ねられることを発表した。

全ての議案審議終了後、近藤洋史副理事長が閉会挨拶を述べて終了した。

この後午後6時より別室で愛知文紙事務器卸協同組合(青山英生理事長)と卸組合賛助会員も合わせて68名が出席して合同懇親会を開催した。

宴半ばには第11回あいち文具屋大賞の表彰式を行い、実行委員長を務めた内

田寛監事が進行し、同賞4部門の上位3社が改めて発表され、受賞7社の代表者にそれぞれ表彰状が住田宏前理事長より贈呈した。

また、同地区メーカー名商クラブの田中宏二会長(トンボ鉛筆)が挨拶した後、賛助会員の異動で初参加となった、スリーエムジャパン・荒谷将寛氏、ナカハヤシ・中林克司名古屋支店長、ニチバン・荒井康之マネージャー、ベント・萩尾剛名古屋支店長、明光商会・名津井健成名古屋支店長、三菱鉛筆中部販売・西山智文常務取締役の6氏を紹介、それぞれ一言スピーチもあり、卸組合・西村友秀理事の閉会と中締

め挨拶でお開きした。

【令和6・7年度役員の内閣】敬称略。

理事長 天野敬之(丸天産業)

副理事長 近藤洋史(豊明堂)、吉田光伸(双葉商会)、樋口武彦(文天堂)、栗田武明(栗田商会)

理事 伊藤芳雄(伊藤商会)、上田雄一郎(コーエイ商会)、原茂彰(精工社)、細川敏彦(ホソカワ)、山中康生(山中商店)、鬼頭良暢(中日ビジネス)、古川守(トミタ事務機)、富田和裕(富一堂、澤藤貴志(文盛堂)、野村茂彦(サンコービジネス)

監事 住田宏(フングス)、内田寛(内田紙店)

今年度も愛の献血運動実施

○大阪文紙会館

一般社団法人大阪文紙会館(志方弘副理事長)は、6月19日午後2時〜4時30分まで文健会館1階ホールで「愛の献血運動」を実施する。

また、協同組合大阪紙文具流通センター(堀隆理事長)は、6月13日午後1時30分〜4時30分までセンター西側駐車場で実施した。

新役員は次の通り(敬称略)

理事長 部聡志(エムディーエス)

副理事長 原田和樹(東京クラウン)、杉山一徳(東京エコー)

専務理事 齊藤仁(員外)

常務理事 洲崎勝彦(永和)、松崎隆(コクヨマーケティング)、園田浩司(タケ)

監事 松澤保夫(松沢)

栗田和明(栗田紙店) 新

今年度も定例会を隔月開催

名紙工協が総会

【メイフン発】名古屋紙製品業協同組合(棚橋泰仁理事長)は、5月7日午後6時より名古屋市中村区サイプレスホテル名古屋駅前で令和6年度通常総会を開催した。

当日は組合員7社中、出席5社・委任状2社の計7社の議決権数を報告した。棚橋理事長が「本日は

今年も愛の献血運動実施

○大阪文紙会館

一般社団法人大阪文紙会館(志方弘副理事長)は、6月19日午後2時〜4時30分まで文健会館1階ホールで「愛の献血運動」を実施する。

また、協同組合大阪紙文具流通センター(堀隆理事長)は、6月13日午後1時30分〜4時30分までセンター西側駐車場で実施した。

# MOUSE PAD POCKET

## マウスパッドポケット

マウスやPC周りの小物を収納できるケースとマウスパッドをひとつにしました。内側には、ワイヤレスマウスのUSBレシーバー等を収納できる小さなポケット付き。カバンに入れて持ち運びやすいコンパクトサイズです。

- サイズ(外寸): 縦180×横160mm
- 表面: 軟質再生塩化ビニール製、裏面: 発泡軟質塩化ビニール製(ブラック)
- 内ポケット付(透明・縦40×横90mm)
- ホック2個
- 全2色(ダークブルー、グレー)
- 税込 ¥1,045 (税抜 ¥950)

**ライオン事務器**

<https://www.lion-jimuki.co.jp/ja/>  
 お客様相談室 TEL. 0120-074416 FAX. 0120-402539

にゃんにゃん

毎月22日は

# ねこの日

www.sedia.co.jp